

各 位

会 社 名 クレアホールディングス(株)
代表者名 代表取締役社長 黒田 高史
(コード番号 1757 東証第 2 部)
問合せ先 取締役 岩崎 智彦
(Tel. 03-5775-2100)

当社孫会社によるBERKUT-Management Company, Ltd. との業務提携に向けた
基本合意契約の締結に関するお知らせ

本日開催の取締役会において、当社孫会社であるCVL株式会社（以下、「CVL社」といいます。）が、ロシアのBERKUT-Management Company, Ltd.（以下、「ベルクト社」といいます。）との間で、ロシア漁業船舶プロジェクト（以下、「本プロジェクト」といいます。）に関連する業務提携に向けた基本合意契約を締結することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 基本合意契約締結の理由

当社孫会社である CVL 社は、平成 30 年 2 月 19 日付「孫会社の業務提携契約の締結、及び商号変更、並びに定款の一部変更に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、韓国の IMT Co., Ltd.（以下、「IMT 社」といいます。）との間でブロックチェーンシステムの開発について業務提携契約を締結しました。提携先である IMT 社は、韓国の国立昌原（チャンウォン）大学の付属機関である昌原大学産学協力団（※1）の船舶工学分野の専門組織であり、当社子会社クレアスタイル株式会社（以下、「クレアスタイル」といいます。）と船舶塗料の販売に向けた実地検証を行っている IMT MARINE INSTITUTE の知的財産等の管理法人として船舶事業を中心に展開する企業ですが、船舶建造プロセス等における I T 活用の一環として、ブロックチェーンシステムの開発を含む I T 分野も手掛けています。同社グループでは、現在、昌原大学産学協力団からの任命を受け、ロシア・韓国の民間企業協力事業として本プロジェクトに取り組んでいます。

本プロジェクトは、2007 年にロシア・韓国政府間で締結された造船、ガス、水産、港湾事業等についての経済協力協定に基づくものであり、韓国ではロシアに対し民間レベルでの経済協力活動を行うために、2014 年から韓国国会内で開催された協力検討フォーラムのうち、造船事業において、造船に関する見識・実績が豊富な傘下組織を持つ韓国の昌原大学産学協力団を主幹企業として 2017 年に「極東未来経済フォーラム」が創立されました。そして、同フォーラムと、ロシアの経済自由区域として指定された沿海州ウラジオストク地区の代表的な企業グループとして知られるベルクトグループ（※2）傘下のベルクト社との間で 2017 年 6 月に本プロジェクト推進に向けた協定が締結され、IMT 社が同フォーラムより任命され設立した IMT-Marine Co., Ltd.（以下、「IMT-M 社」といいます。）とベルクト社がジョイントベンチャー（合弁会社）を設立し推進することとなりました。

本プロジェクトの取組み内容は、ロシアで現在運用中の漁業船約 3,300 隻のうち、運用年数が経過した約 770 隻を 1 次対象として 10 年から 15 年を目途に漁業船を新造・改良することであり、ベルクト社がロシアのウラジオストク経済自由区域内に有し、長年使用していなかったスラバンカー造船所のリニューアルと、その有効活用を計画・実施するもので、新造する漁業船については、順次、完成船の輸入を認めていないロシアまで韓国で半建造したブロック船を運び、同造船所で最終組立てを行います。

このような本プロジェクトを推進している IMT 社及び IMT-M 社を通じて、船舶建造に対する工程管理や船の運用管理等にまでブロックチェーンシステムを適用させる新技術の開発を CVL 社と IMT 社で担うとともに、当社子会社クレアスタイルと検証している船舶塗料等の船舶建造における部品や建材、建造技術、オイル等についての提案や販売に加えて、ベルクト社が保有するスラバンカー造船所のリニューアル、ロシアの気候や安価な電気代からデータ

センターの運営等の造船所余地の有効活用についての企画や運用について、ベルクト社の意向から、業務提携に向けた本基本合意契約の締結に至りました。

当社グループが本プロジェクトのビジネスパートナーとして参画した場合、開発するブロックチェーンシステムや新技術の提案・活用、船舶建造・運用における各種建材や、部品、オイル等の販売による収益が見込め、また、ベルクト社が所有する造船所のリフォームやその有効活用の提案等による建設事業等の実績を積み上げることが期待できる等の様々なメリットが見込まれます。また、新技術、新製品の紹介による運用コストの削減や収益拡大の提案、都市インフラ整備や建設事業への進出、納品した船舶の漁獲に対する分配等の利権行使、さらには、ブロックチェーン技術を活用した船舶の建造コストの削減、特許取得等知的財産権の確保、取引企業間で駆使することを契機とするフィンテック事業の展開へ拡大できると期待しています。

以上から、当社グループが本プロジェクトに参画した場合の実現性、収益性が十分に見込めるものと判断し、当社孫会社である CVL 社がベルクト社との間で、本プロジェクトに関連する業務提携に向けた基本合意契約を締結することといたしました。

- ※1 産・学・官の効率的な連携により社会貢献ができる企業の育成を目的として、2003年に昌原大学内に創立された機関であり、中小企業やベンチャー企業に対して研究開発、海外進出、営業活動の支援等の業務を行っている。
- ※2 造船所をはじめ、発電所、運送、不動産開発、建設、金融（銀行所有）、旅行、免税店等の事業会社を抱える企業グループで、ベルクト社の説明によると、金融と発電所の売上を除いた2016年度のグループ全体売上は約314億RUB（ロシアルーブル＝約546億円）従業員は約1,500名規模。

2. 基本合意契約の内容

基本合意契約の主な内容は以下のとおりです。

- (1) 両社は、IMT-M社とともにロシア造船事業とスラバンカー造船所リニューアル事業に緊密に協力し、事業成功のために努力する。
- (2) 両社は、スラバンカー造船所にインターネットデータベースセンターを構築することを発端に、ウラジオストクやロシア他の地域にこのプロジェクトの範囲を広げていく計画に対して協力していく。
- (3) CVL社は、スラバンカー造船所に大型及び中規模の漁船を発注し、運用する計画を企画し、これについてベルクト社とIMT-M社と密接に協力して展開する。
- (4) ベルクト社は、CVL社のブロックチェーン技術応用プロジェクトの展開や、その資金調達について積極的に協力する。
- (5) CVL社は、近い将来、上記プロジェクトを実施するためにロシアに会社を設立する計画をする。

基本合意契約締結先の概要

| | | |
|-------------------|---|-------------|
| (1) 名 称 | BERKUT-Management Company, Ltd. | |
| (2) 所 在 地 | 83, Svetlanskaya str., Vladivostok, 690003, Primorsky Krai Russia | |
| (3) 代 表 者 | A. Tekiev | |
| (4) 設 立 年 月 日 | 1970年6月 Slavyanski ship-repair factory で営業開始 | |
| (5) 事 業 内 容 | 造船業、建設業、林業、運送業、金融等 | |
| (6) 資 本 金 | 1,500,000,000 ルーブル（約26億円） | |
| (7) 上場会社と該当会社との関係 | 資本関係 | 該当事項はありません |
| | 人的関係 | 該当事項はありません |
| | 取引関係 | 該当事項はありません |
| | 関連当事者への該当状況 | 該当事項はありません。 |

※ 大株主及び当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態につきましては、先方より同意が得られていないため記載しておりません。

3. 基本合意契約締結の日程

| | |
|-----------|-----------|
| 当社取締役会決議日 | 平成30年7月3日 |
| 契約締結日 | 平成30年7月3日 |

4. 今後の見通し

本件基本合意契約締結による当社業績への影響につきましては、基本合意契約に基づく本プロジェクトを推進の上、当社の業績に重大な影響を与えることが判明した場合、すみやかにお知らせいたします。

以上